令和8年度第1回大阪府南河内保健医療協議会 議事概要

日時：令和8年10月22日（木）午後2時から午後 3 時 10 分まで

開催場所：南河内府民センター 3階講堂

出席委員：委員総数 42 名のうち 35 名出席（定足数 22 名であるため有効に成立）

児嶌委員	森川栄司委員	岡田委員	土屋委員	竹口委員	芝元委員
小杉委員	松谷委員	竹田委員	福田委員	遠山委員	大原委員
目谷委員	森川淳史委員	篠崎委員	古根川委員	喜田委員	緒方委員
緒方委員	土橋委員	舟本委員	山本晃司委員	山本高久委員	木村委員
渡辺委員	中野委員	阪本委員	平山委員	橋本委員	伊原委員
赤松委員	山口委員	松田委員	村井委員	辻委員	上田委員

■会長・副会長の選出

互選の結果、土屋委員が会長に、福田委員及び森川淳史委員が副会長に選出された。

■議題1 第2次大阪府地域医療構想の策定の方向性

資料に基づき、資料1－1を大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課、資料1－2及び資料1－3を富田林保健所から説明。説明後、質疑応答。

【資料1-1】 第2次大阪府地域医療構想の策定の方向性
【資料1-2】 第2次大阪府地域医療構想素案（南河内構想区域）
【資料1-3】 医療機関別診療実績等一覧（南河内二次医療圏）

＜質問・意見等＞

質問・意見は、特になし

■議題2 病床数適正化緊急支援事業について【決議事項】

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。

説明後、質疑応答の上、各病院の対応方針について決議。

【資料2-1】 病床数適正化緊急支援事業について
【資料2-2】 病床数適正化緊急支援事業の申請状況（南河内二次医療圏）

＜1. 質問・意見等＞

【病床数適正化緊急支援事業】

（質問）

○南河内圏域では、回復期病床の必要性が指摘されている一方で、回復期病床の稼働率が低下し、病床を削減する医療機関もあることから、本当に回復期病床が不足しているのか、疑問を感じる。回復期病床ついて、大阪府は回復期地域など細かく分類しているが、ひとく

くりにすると回復期病床の必要量を正確に表しているとは限らないのではないか。

（大阪府の回答）

○現在、2040 年に向けた病床数の必要量を改めて計算しているところ。それに伴い、回復期病床の実態も踏まえ、再考する必要があると感じている。一方で、急性期病院からの下り搬送の円滑化も今後進める必要がある。これらを踏まえて、今後の回復期病床の必要量を考えていきたい。

＜2. 決議結果＞

【各病院の対応方針（病床数適正化緊急支援事業について）】

・各病院の対応方針については、全て合意となった。

・医療法人宝生会PL病院、青山第二病院、医療法人恒昭会青葉丘病院が当該事業を活用することとなった。

■議題3　第8次大阪府医療計画の見直しについて

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。

説明後、質疑応答。

【資料3-1】 第8次大阪府医療計画の中間評価等の実施について
【資料3-2】 基準病床数の見直しについて
【資料3-3】第 8 次大阪府医療計画第 6 章在宅医療（後期）見直しの考え方
【資料3-4】外来医療計画後期計画（R9～R11 年度）にかかる基本的考え方
【資料3-5】医師確保計画後期計画（R9～R11 年度）の策定について
【資料3-5 別添】重点医師偏在対策支援区域について
【資料3-6】地域医療構想等の策定及び第8次医療計画の見直しスケジュール(予定)

＜質問・意見等＞

質問・意見は、特になし

■議題4　かかりつけ医機能報告について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。

説明後、質疑応答。

【資料4】かかりつけ医機能報告について（南河内二次医療圏）

＜質問・意見等＞

質問・意見は、特になし